

# OCLC概要

WorldCatを中心とした最近の動向について

2007年10月26日

(株)紀伊國屋書店 OCLCセンター

# OCLC 概要

- 1967年 米国Ohio州内大学の共同利用機関として設立  
Ohio College Library Center
- 目的  
共同目録作業とILLの推進  
コンピュータを積極的に利用した図書館間協力  
→ 情報資源の共有化および図書館費用の削減

## Resource Sharing

# OCLC 概要(続き)

- 1981年 Ohio州外および米国外へのサービス拡大に伴い、  
現行の名称へ変更

**OCLC Online Computer Library Center Inc. へ**

- 現在は、世界各国の大学、研究機関が加盟する  
世界最大のライブラリーネットワーク
  - 世界110以上の国および地域、60,000館以上の図書館  
が参加／利用(2007年10月現在)

# OCLC 概要(続き)

- 情報の爆発的な増加、資料費高騰や予算縮小など  
→ 単館または限られた機関でのローカルな  
情報収集、保管が限界に達してきている
- OCLCの提唱が評価をうける
  - 情報資源共有化のメリット
  - 最新の情報技術を駆使した図書館生産性の向上
  - コスト削減実績

# OCLC 概要(続き)

- 資料の組織化から知識の組織化へ
  - 文字情報、視聴覚情報のみならず、「知識」も組織化し蓄積
- 様々な書誌データベースを統合しつつ、書誌情報の共通プラットフォームを目指す
  - 2006年7月 RLG Research Library Groupを統合
- 真の情報共有化、資源活用を目指す
  - 「図書館使命」の再確認

# WorldCat OCLC Online Union Catalog

- 世界最大の書誌データベース
  - 書誌レコード 約6,000万件
  - 所蔵レコード 約12億件（2007年10月現在）
  - 書籍、逐次刊行物のほか、CD、ビデオ、インターネット情報資源なども含む様々な資料の書誌情報を収録
- 各国のナショナルMARCを取込
  - MARC21、NLM/MARC、UK/MARCなど
- RLG書誌データベースRLINの統合

# OCLCサービスー1

## (オンライン・カタログサービス)

- WorldCatを利用することにより、図書館における  
目録作成業務を大幅に省力化
  - ヒット率 平均95%以上
- ヒットした場合、WorldCatの書誌レコードに  
自館ローカルデータを付加することで、  
目録作成は完了

# OCLCサービスー2

## ( ILL 図書館間相互貸借サービス)

- ILLリクエストの作成・発信支援
- WorldCat上の約6,000万件の書誌レコードに対応する所蔵情報を確認し、OCLC ILL参加館(2006年現在 約8,000館)との資料相互貸借、複写を支援するサービス
- オンライン上で参加館の貸出条件などの確認ができ、一度に複数の参加館に依頼を送信できるため、手間と時間を大幅に短縮



# OCLCサービスー3

## (FirstSearch レファレンスサービス)

- エンドユーザーが特別なスキルなしに利用できることを目的に作られた情報検索サービス
- 約70のデータベースを収録
- 多くのデータベースがWorldCatとリンクしており、該当資料の所蔵機関を知ることが可能
- 二次情報から一次情報(フルテキスト、電子ジャーナル)へのリンクを実現

# OCLCサービス－4

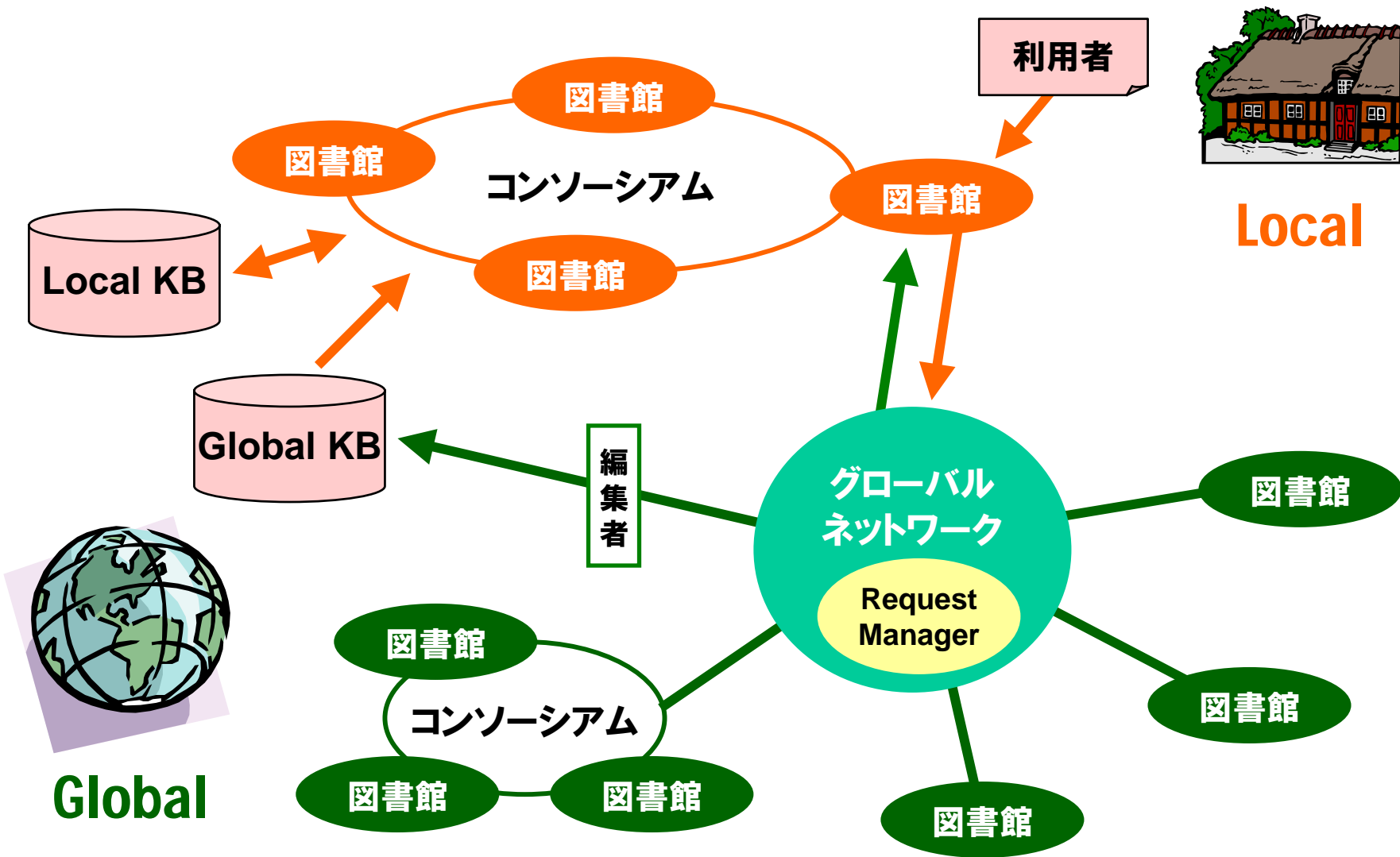
## 共同レファレンス - QuestionPoint

- 図書館間および図書館員相互協力のもとにおこなうネットワークを利用した共同レファレンス
- 目的一より信頼できるレファレンスサービスを特別なソフトウェアなしに半永続的に提供すること
- 人的資源、情報資源の共有化
  - 利用者サービスの拡大、効率性向上
  - 図書館コストの削減

### Resource Sharing

# QuestionPoint 概要(続き)

- 週7日間24時間体制でのサービス提供
  - －世界中の図書館の参加、協力が成功の鍵
- 特別なソフトウェアなしにサービスを提供
  - －汎用のWebブラウザだけでのサービス提供



# OCLCサービスー5

(NetLibrary eBooks 電子ブックサービス)

- 主に学術図書館向けのeBooksコレクション  
約14万タイトル中、90%がAcademic Library Collections
- eBooks間の横断フルテキスト検索、また特定のeBook内のフルテキスト検索が可能
- コンテンツはNetLibraryのサーバーで管理され、インターネット環境のみが必要
- 2007年11月より和書eBookコンテンツの本格提供開始

# WorldCat.org

- 利用者の情報入手手段
  - 検索エンジンからのWeb情報のみに頼る傾向が顕著
  - 図書館の精選された資料にナビゲートさせるOCLCの試み
- WorldCatの全データ(簡易データ)がWorldCat.orgより検索可能
  - 図書館OPACへ利用者をナビゲート

# お問い合わせは

**(株)紀伊國屋書店OCLCセンター**

**〒150-8513 東京都渋谷区東3-13-11**

**TEL: 03-5469-5923**

**FAX: 03-5469-5964**

**E-mail: [oclc@kinokuniya.co.jp](mailto:oclc@kinokuniya.co.jp)**